

## 『 第16回 日本福祉大学ケアマネジメント研究セミナー 』

# 「ウイズコロナ時代に立ち向かうケアマネジメントの課題 ～利用者(家族)の“危機”を克服できるケアマネジメントを考える～」

新型コロナウイルスの影響は私たちの暮らしと日本経済、そしてケア現場や医療現場の業務全体に及んでいます。ケアマネジメントの場面では、「感染防止」を理由としたモニタリング訪問の自粛や短時間化、介護サービスの自粛、サービス担当者会議の書面照会の常態化、居住型施設(サ高住、住宅型有料)における外部ケアマネジャーのモニタリング面会の制限、地方における首都圏の家族の帰省を理由にした介護サービスの利用制限などの事態も生まれています。家族介護者の負担も大きく、リモートワークの普及による同居介護の24時間化、休業・雇用調整による休職・失職などによりストレスを増加させています。

地域の支え合い活動も「三密回避」のなかで地域の集いの場・通いの場なども自粛され、高齢者支援の「地域の力」は弱体化しています。

こうしたなかで開かれる第16回日本福祉大学ケアマネジメント研究セミナーでは、コロナ禍で浮き彫りになったケアマネジメントの現状を確認することを通して、ウイズコロナ時代に立ち向かうケアマネジメントの課題を深めます。

日 時 : 2021年2月20日(土) 13:00～16:45

開催方法 : オンライン会議システム Zoom ミーティング形式 定員 200名

主 催 : 日本福祉大学福祉社会開発研究所

共 催 : 日本福祉大学ケアマネジメント技術研究会

**開 会** 13:00-13:10

奥田 亜由子 (日本福祉大学ケアマネジメント技術研究会)

**問題提起** 13:10-13:50

演題 「ウイズコロナ時代に問われる利用者(家族)支援とケアマネジメントの課題  
～ケアマネジメントの本質が見えてくる～」

講師 : 白澤 政和 (日本福祉大学客員教授・国際医療福祉大学大学院教授)

コロナ禍で浮き彫りになった高齢・障害におけるケア実践やケアマネジャー(介護支援専門員、相談支援専門員)の実践から、ケアマネジメントの課題を整理し、ウイズコロナ時代におけるケアマネジメントの本質を考えます。

**実践報告** 14:00-15:00

テーマ 「コロナ禍でのケアマネジメント実践報告」

進行 : 山田 るみ子・二本柳 覚 (日本福祉大学ケアマネジメント技術研究会)

問題提起を受け、2020年3月～12月までの期間、コロナ禍でどのようなケア現場の実践と感染者対策及び予防対策がされ、利用者(家族)支援のケアマネジメント実践が行われたのかを明らかにします。

- ・**高齢領域**：竹内 太一（東京都世田谷区 居宅介護支援事業所成城リハケア:ケアマネジャー）  
コロナ禍におけるケアマネジャーの業務への利用者、家族からの意見と要望およびそれらへの対応の現状と課題について報告します。
- ・**高齢領域**：中村 麻紀子（東京都小平市地域包括支援センター中央センター:主任介護支援専門員）  
東京都小平市のケアマネジャーアンケートからコロナ禍における現場のケアマネジメント実践とオンラインなどを活用した包括的・継続的ケアマネジメント支援について報告します。
- ・**障害領域**：島村 聡（沖縄大学人文学部福祉文化学科 教授）  
沖縄の感染率は全国トップクラスとなり、相談支援専門員の活動も混乱に陥っています。ケアマネジメント体制の観点から利用者の意思決定支援をどのように継続していくのかを報告します。

**シンポジウム** 15:10-16:40

テーマ 「ウイズコロナ時代におけるケアマネジメントの方法」

進行：高室 成幸・近藤 芳江（日本福祉大学ケアマネジメント技術研究会）  
 コメンテーター：白澤 政和（日本福祉大学客員教授・国際医療福祉大学大学院教授）

問題提起と実践報告を受け、コロナ禍においてどのようなケアマネジメントの方法が求められるのか。高齢領域・障害領域における実践技術を整理し、ウイズコロナ時代における生活の連続性とケアマネジャーの自律性の確立およびケアマネジメントの方法と課題を浮き彫りにします。

- ・**高齢領域**：大河内 章三（愛知県名古屋市 支援センターミナミ:ケアマネジャー）  
名古屋市におけるコロナ感染発症以降のケア現場とケアマネジメントの取り組みを総括し、重症化および看取りに向けたACPの取り組みなど実践的ケアマネジメントの方法を報告します。
- ・**地域包括領域**：茂古沼 江里（富山県高岡市 福岡地域包括支援センター所長:認定ケアマネジャー）  
感染予防と対応を地域包括ケアの重要テーマと位置づけ、富山県と高岡市における医療・介護・行政・地域の連携による感染対策と包括的・継続的ケアマネジメント支援業務を報告します。
- ・**障害領域**：草野 由紀（愛知県安城市 相談支援事業所ひだまり:相談支援専門員）  
当事業所は主に精神障害をお持ちの方を対象とした相談支援事業所として安城市で活動を行っています。本報告では、利用者の不安とその対応、また地域事業所との連携体制の構築に向けた取り組みについて紹介します。

**閉会** 16:40-16:45

奥田 亜由子（日本福祉大学ケアマネジメント技術研究会）

### 参加申し込み方法

■参加料金 2,000 円

■申し込み方法

以下の申し込みフォームからお申込みください。

<https://area31.smp.ne.jp/area/card/15824/b1gzhA/M?S=sdnct0pc0nfmho>

■申し込み締切 2021年2月8日(月)

◆申し込み完了後、入力いただいたアドレス宛にゼミナール受付メールが届きます。

◆ZOOMのアドレスは、ゼミナール申込時のメールアドレスに2月18日(木)に送信します。

《問い合わせ》 日本福祉大学研究課(ケアマネジメント研究セミナー事務局)  
 TEL:090-4855-3590(平日 10:00-17:00) Email:care\_seminar@ml.n-fukushi.ac.jp